

諸家系譜

位
よ吉田

庫文官政太			
三三六	四九	和	書門
二二五		冊架	函號類

共二百廿五内

庫文内			
三三三	三三九	和	書
二二五		冊架	函號類

共八十五

内閣文庫	
番號	和 32649
冊數	225 (129)
函號	156 23



山崎
係

系
係

吉田
津田
山崎
係

山崎
吉田
津田
山崎
係

西丸
津田
山崎
吉田
山崎
係

源姓

吉田

法和堂主守吉子口京自阮親王
房胤新羅三子你了我光五世一法吉田
石屋厨你有我長曾家名孫吉田

家紋

地若荷
葛

幕紋

地若荷

有信

吉田六郎

有朝

吉田六郎

時信

吉田六郎

有綱

吉田六郎

有政

吉田六郎

有常

吉田六郎

信慶

吉田六郎

信盛

吉田六郎

盛常

吉田六郎

北條家仕於信國、自乃九郎實方、信文、
信成、信重、信實、信光、信俊、信長、
信實、信重、信光、信俊、信長、

盛行

吉田六郎

北條氏直子、仁義、水盛、常、

知子後仕女正十八年七月廿七日尚尔房儀
有月六日心條曲備合致之部 印北仁年華比
法房少知

成豐次

七之侍

陽和名宗也

母少知

喜山

和志之房長女の政次女

宮

和志之房長女の政次女

右喜中成、慶長九年甲辰年也、仕後宮文様御書
あり、和志之房長女の政次女、成書向書、
慶次、嫁七条御書、仕後宮の政次女、成書向書

相和名宗也

正保二年甲辰年七月廿七日尚尔房儀

大藏院御書

常宮御書

所 延平、和志之房長女の政次女、成書向書、

林坊、和志之房長女の政次女、成書向書、

自承元二年乙卯、和志之房長女の政次女、成書向書、

和志之房長女の政次女、成書向書、

和志之房長女の政次女、成書向書、

和志之房長女の政次女、成書向書、

和志之房長女の政次女、成書向書、

○此乃山内少主人盛稱しりし五箇之部也
山内少主人七孫孫之小山内在科しりし少主人
少主人故しりし山内少主人山内少主人
常憲彦孫稱しりし少主人

○此乃山内少主人盛稱しりし五箇之部也
山内少主人七孫孫之小山内在科しりし少主人
少主人故しりし山内少主人山内少主人
常憲彦孫稱しりし少主人

七世奇峯白雲しりし年寺領しりし山内少主人
奇峯通しりし山内少主人物礼塔しりし山内少主人
中後同年十月乃しりし山内少主人於山内少主人
御弟中しりし山内少主人

○此乃山内少主人盛稱しりし五箇之部也
山内少主人七孫孫之小山内在科しりし少主人
少主人故しりし山内少主人山内少主人
常憲彦孫稱しりし少主人

蘇代弟同寺法名照月院桂林心傲

大慶元年安高七系延重長以名中代
以名惟之少知

女子 陸國國以空 相樂寺之長老傳喜

母 王孫法名以師學女子

盛信 師來修身

母 古有

以名助一依古著利在致了有但書向修身

正長不書知中

盛昌 書向

母 壽 師名 三傳法名以師學女子

後書少少知修身 外名長身 師名 死

法書不書身以 三師名 師名 師名 師名 師名

出生一以名知 出師名 師名 師名 師名 師名

了依之女子年月日 寺中出師名

常念法名 寺中出師名 師名 師名 師名 師名 師名 師名

法東之古七知依以名知

延家八古中身月以名知

淨法院師名 寺中出師名 師名 師名 師名 師名 師名 師名

夫和正天皇元年有火八
河内物探遊羊 焉考人の地物相以作中
其地今名所也

中書以 松浦内元元地也

貞享三年有火有火の心在地物探
伊福寺地也 其地今名所也

元禄元年有火有火の心在地物探
其地今名所也 其地今名所也

也

也

其地今名所也

豊教

其地今名所也

也

其地今名所也

也

其地今名所也

也

也

也

也

也

也

也

三島藩領下小山院新科より書す
書す所也

同月廿三日此院之書出和申也此の書
り所也

同年八月古相より書り所也

同月廿三日此院より書り所也

同月廿三日此院より書り所也

同月廿三日此院より書り所也

同月廿三日此院より書り所也

女子 母 母 母

書封

母 母 母 母

書封

書封

書 山縣

事字西三任辰良風女

出立の由事

是處に教養のよしは、何れも年月日不記

元禄八年乙未年三月三日、文徳院に於て

主事、出立の由、年月日不記、山縣辰良風女

能月花中云

常憲彦孫山縣之伴

宝永四年丁未年八月廿三日、延喜書に、何れも在

り、何れも年月日不記、何れも乙未年三月十日

常憲彦孫山縣之伴とある中

同年、有る事、是等は、何れも

西暦、乙未年三月十日、延喜書に、何れも

同大乙未年三月

於現極、百回、延喜書、何れも、何れも、何れも

延喜書、乙未年三月十日、延喜書、何れも、何れも

延喜書、乙未年三月十日、延喜書、何れも、何れも

延喜書

延喜書、乙未年三月十日、延喜書、何れも、何れも

延喜書、乙未年三月十日、延喜書、何れも、何れも

延喜書、乙未年三月十日、延喜書、何れも、何れも

同中二四年

右德隆村日光山社系一云以休以以以以

同中二四年八月廿六日

宣曆久壽寺年二月廿九日

日号 法名 志女院 法名 志女院

女子

母

中川郡新志郡女

菅原氏系尾下郡多良少院之月離別仁天女
志女院系

女子

母

系京西志郡良院女

女子

母

母

母

母

母

女子

母

母

母

母

母

母

此書乃... 通... 東... 氏... 氏...
... 氏... 氏... 氏... 氏...
... 氏... 氏... 氏... 氏...

... 氏... 氏... 氏... 氏...
... 氏... 氏... 氏... 氏...
... 氏... 氏... 氏... 氏...

... 氏... 氏... 氏... 氏...
... 氏... 氏... 氏... 氏...
... 氏... 氏... 氏... 氏...

此係... 氏... 氏...

天... 年... 年... 氏... 氏... 氏...

... 氏... 氏... 氏... 氏...

忠易

... 氏... 氏... 氏... 氏...

母

... 氏... 氏... 氏... 氏...

女子

... 氏... 氏... 氏... 氏...

母

女子

... 氏... 氏... 氏... 氏...

室母

石部^群の女

右の女は母の女に父の實の女に己年甲寅の御
生れの女に

女子

早也

母

高家^群の女

系

金也

也

母 高也

女子

母^群の女

祖父^群の女

女子

山部^群

三我^群の女

母^群の女

曾孫

室母^群

書 高^群の女

後書^群の女

いふ^群の女

安^群の女

り^群の女

佐^群の女

同年三月十日... 通瑞... 此... 同年十一月... 同... 同... 同...

同年... 同... 同... 同... 同...

同八月... 同... 同...

同... 同... 同...

女子... 女子... 女子...

女子... 女子...

母... 母...

同... 同...

寛政七庚戌年八月廿五日

女子

宣父

宣母

宣子

宣母

宣子

女子

母

宣子

存通

宣政十二年七月

宣政十二年七月

宣政十二年七月

宣

系備

未

宣

宣

宣

宣

宣

平吉氏

平吉 平吉氏 平吉氏 平吉氏

平吉氏 平吉氏 平吉氏 平吉氏

平吉氏 平吉氏

平吉氏 平吉氏 平吉氏 平吉氏

平吉氏 平吉氏 平吉氏 平吉氏

平吉氏 平吉氏

平吉氏 平吉氏

平吉氏 平吉氏

平吉氏

平吉氏

平吉氏

平吉氏 平吉氏 平吉氏 平吉氏

平吉氏

平吉氏

秀氏

吉田公命 安藏 乃之尉

母 妻 本高之

年月日不知父何所後吉田氏位是利所願仁
生年不知

秀個

高之介 乃之尉

母 妻 不知

年月日不知父何所後吉田氏位是利所願仁
生年不知

宗個

乃之介

宗個

吉田公命 乃之尉

母 妻 不知

兄秀德生寅子初生年九月 不知遠近何處
吉田氏家何所後：初生年不知

秀喜

吉田公命 乃之尉

母 妻 不知

年月日不知父何所後吉田氏家何所後
生年不知

○医業記
光秀

吉田公命 乃之尉 法住寺

母 妻 不知

至徳元年甲子 朝野新記云吉田氏生法住
相後吉田氏乃在室所解得月位是利所願仁

年中月... 有... 一... 附... 仁...
 辰... 中... 物... 土...
 仁... 本... 山... 俄...
 同... 性... 聖... 新... 皇...
 卿... 醫... 術... 術...
 相... 政... 以... 傳... 聖... 訓...
 乳... 之... 德... 色... 地...
 君... 仁... 德... 皇... 皇...
 昭... 定... 長... 皇... 皇...
 皇... 皇... 皇... 皇...
 十... 年... 皇... 皇...

天皇... 律
 号仁菴法下傳春

宗林

母 壽 早知

又安... 生... 皇...
 父... 皇... 皇...
 皇... 皇...
 皇... 皇...
 皇... 皇...
 皇... 皇...
 皇... 皇...

一 皇祖... 宗...
中... 青... 宗...
皇... 宗...
宗...
皇... 宗...
皇... 宗...

宗忠

母 高 延德二年...
皇... 宗...

永正十一年... 相... 皇... 宗...

光雄

光雄... 皇... 宗...

光治

母 喜 皇...

右光治侯也。山城侯孫。孫立男子四人。有
長子吉田忠素。忠素長子。又子孫男。子孫人。有
山本孫山城侯。孫立男子。今教仁。孫立。吉田
侯。孫立。次。是。又。山。本。孫。立。男子。孫。有。三。子。
吉田。真。隆。侯。孫。立。同。孫。立。幼。孫。孫。立。孫。立。
而。孫。立。又。少。孫。孫。立。孫。立。孫。立。孫。立。孫。立。
孫。立。孫。立。孫。立。孫。立。孫。立。孫。立。孫。立。
孫。立。孫。立。孫。立。孫。立。孫。立。孫。立。孫。立。
孫。立。孫。立。孫。立。孫。立。孫。立。孫。立。孫。立。
孫。立。孫。立。孫。立。孫。立。孫。立。孫。立。孫。立。
孫。立。孫。立。孫。立。孫。立。孫。立。孫。立。孫。立。

宗桂

母喜

承正九年。甲申。月。不知。生。角。宮。長。文。元。年。之。辰。
月。皇。親。父。宗。忠。成。運。德。白。宗。桂。立。後。室。所。敘。
侍。醫。而。成。道。叙。而。立。下。万。和。隆。叙。而。立。隆。叙。
山。代。正。和。叙。而。立。下。又。八。年。己。亥。選。明。使。王。孫。立。
策。度。上。向。和。仁。明。叙。而。立。下。孫。立。而。立。孫。立。而。立。
孫。立。而。立。孫。立。而。立。孫。立。而。立。孫。立。而。立。
相。孫。立。而。立。孫。立。而。立。孫。立。而。立。孫。立。而。立。
書。立。而。立。孫。立。而。立。孫。立。而。立。孫。立。而。立。

初年為之仁天文十四年春正月、少初在
天文十五年丁未再明、仁海、吾、仰、佛、本
世宗南、帝、心、肥、之、有、系、本、珍、錄、業、進、獻
仁、心、之、有、肥、年、有、有、之、有、恩、賞、顏、輝
等、扁、鵝、抄、初、一、幅、花、梨、一、葉、筒、螺、烟、葉、筒
元、板、重、深、總、錄、一、段、蓋、書、一、挺、綿、一、年
當、在、仁、心、之、有、肥、年、有、有、之、有、恩、賞、顏、輝
仰、初、承、錄、八、年、乙、丑、光、德、後、敏、其、一、後
退、身、同、在、仁、心、之、有、肥、年、有、有、之、有、恩、賞、顏、輝
數、年、一、葉、三、之、院、一、葉、德、後、仁、心、之、有、肥、年
一、宗、柱、仁、德、業、本、之、年、初、仁、心、之、有、肥、年

日華子、之、呼、中、心、也、是、七、五、代、陣、日、華、子、院、家
本、年、之、著、作、仁、德、性、通、曉、仁、心、之、有、肥、年、一、挺、
仁、心、之、有、肥、年、一、挺、仁、心、之、有、肥、年、一、挺、

光長

光長、仁、心、之、有、肥、年、一、挺、仁、心、之、有、肥、年、一、挺、
仁、心、之、有、肥、年、一、挺、仁、心、之、有、肥、年、一、挺、

壽翁

壽翁、仁、心、之、有、肥、年、一、挺、仁、心、之、有、肥、年、一、挺、
仁、心、之、有、肥、年、一、挺、仁、心、之、有、肥、年、一、挺、

等云

仁、心、之、有、肥、年、一、挺、仁、心、之、有、肥、年、一、挺、

女子

多助高壽執行

榮壽高壽

天正十三年七月廿一年

女子

理珍院

天正十七年九月方通化

光好

幼子七

後角倉了以

母

中村氏

天文大正年甲寅月甲辰日生磯海角倉
成一人後醫業理人角倉嗣之孫了以也
性賢善於地理精通任職達 孝年八月
檢理福山 御目之中上角倉了以八年登印角倉

作書南無也如信門十年己巳月甲辰角倉
作舟師保津、磯原大井川通川中大之身
通和難成是更之在太乙大燒切打彈
其和善善信信長十一年丙午八月日
高和通和信信門十年丁未月甲辰角倉
作舟師信信和信入後磯河小宮河甲辰
小宮通和信門十年甲申月甲辰角倉
作舟師小宮方不遠信和掛堀と云信川通和
作信右通和信信川角倉信信
作舟師信信和信信信信信信信信信信
信信信信信信信信信信信信信信信信

信信信

徵細ノ族系高野河川水ノ元角倉一穂
日記ノ有書院 長十九年中庚七月
十二年六十一歳二月院号又張城山院ノ中
親吉寺之建立之付 右堂門ノ先好本條造立
仕碑 不足五十年 碑文林道壽書云先好
寺曹安氣主之阿比下 長因徳

宗物

母 中村氏
書 保原信生
永禄元年庚申朔 生保原角倉初母為首字
幼光改初孫守 氏姓 長庵 子舟

相名余申相存命之申之先好及 聖書種ノ有
宗物嗣子ニ有依之依三年申十月六日 宗物
以後述依不依 又平十年乙酉 聖書種ノ有
五石室所創ノ物ノ事地ニ有之 其依種ノ有
三好園白家所ニ有之 加恩ノ有之 三好ノ有
園白家ノ弟ノ有 文編元年己未園白家龍去
後加恩ニ有之 述依保原 述之仁有之
長身平身原ノ有之
保原成流様所創ノ有之 平永 内所兼然之有之
所恒所兼然ノ有之 保原ノ有之 卷ノ有之
字ノ有之 保原
備言所法下ノ有之 保原

控理御所職之正金明和所員之在御所創心等事

作有且性時分し知り常々進承奉御遠慮

下仕方御事下取裁仕右所兼平下為極終

當時可抄方々之如三年丁巳分先年

台徳渡御事御事下取裁裁去方所兼平下取

之御事過御心候。其御事其方候之書面

中候之御事其御事御事御事御事御事

台徳渡御事御事御事御事御事御事御事

又渡御事御事御事御事御事御事御事

御事御事御事御事御事御事御事御事

御事御事御事御事御事御事御事御事

御事御事御事御事御事御事御事御事

御事御事御事御事御事御事御事御事

御事御事御事御事御事御事御事御事

御事御事御事御事御事御事御事御事

御事御事御事御事御事御事御事御事

御事御事御事御事御事御事御事御事

御事御事御事御事御事御事御事御事

御事御事御事御事御事御事御事御事

御事御事御事御事御事御事御事御事

御事御事御事御事御事御事御事御事

御事御事御事御事御事御事御事御事

御事御事御事御事御事御事御事御事

可及册湖明久三年大員家至第九長均大均通
 乃為蓮舟燒矣附流其言門才福井宗公而山
 至收中者兩人亦變喚作

其後而於善。心家一業初其後於後有
 控現亦分沙。自派至通。所得一枚物。作。作身

其長十三年。原成病身。自休是所。惟自臥於
 其所同年。四。十。年。齡。中。三。年。三。號。號。號
 通真院法下又云。宗物著述傳書

- 一 古今醫案 三十五卷 孫君書
- 一 藥性藥類 右名又恒寓友者自學年約別流有之
- 一 十卷 孫君書

- 一 增補醫經考 十二卷 孫君書
- 一 本草序例抄 七卷 孫君書
- 一 素問傳不或 上篇七卷 孫君書
- 一 難經註疏 四卷 孫君書
- 一 名醫傳異 二卷 孫君書
- 一 醫方大成傳抄 一卷 孫君書

紹意 下 紹卷

母 中村氏女
 右限居成法人之醫業仕生涯兄宗物方
 其言也一人之子孫皆在也 文祿四年
 乙未七月十日卒

女子

母

孝行 宣和元年卒 享年六十

女子

母

系 宣和元年卒 享年六十

女子

母

死

女子

母

宗物 宣和元年卒 享年六十

右 宣和元年卒 享年六十

女子

母

系 宣和元年卒 享年六十

女子

宗物 宣和元年卒 享年六十

母

宣和元年卒 享年六十

女子

母

宣和元年卒 享年六十

宗物

母

宣和元年卒 享年六十

宣和元年卒 享年六十

宣和元年卒 享年六十

年月日
杜氏通典一部
奇效良方一部

杜氏通典一部
奇效良方一部
千金方一部
素問一卷
靈樞經一卷

杜氏通典一部
奇效良方一部
千金方一部
素問一卷
靈樞經一卷

杜氏通典一部
奇效良方一部
千金方一部
素問一卷
靈樞經一卷

杜氏通典一部
奇效良方一部
千金方一部
素問一卷
靈樞經一卷

杜氏通典一部
奇效良方一部
千金方一部
素問一卷
靈樞經一卷

杜氏通典一部
奇效良方一部
千金方一部
素問一卷
靈樞經一卷

杜氏通典一部
奇效良方一部
千金方一部
素問一卷
靈樞經一卷

杜氏通典一部
奇效良方一部
千金方一部
素問一卷
靈樞經一卷

崇禎御極
編之三卷
奇效良方
素問一卷
靈樞經一卷

崇禎御極
編之三卷
奇效良方
素問一卷
靈樞經一卷

崇禎御極
編之三卷
奇效良方
素問一卷
靈樞經一卷

崇禎御極
編之三卷
奇效良方
素問一卷
靈樞經一卷

崇禎御極
編之三卷
奇效良方
素問一卷
靈樞經一卷

崇禎御極
編之三卷
奇效良方
素問一卷
靈樞經一卷

崇禎御極
編之三卷
奇效良方
素問一卷
靈樞經一卷

崇禎御極
編之三卷
奇效良方
素問一卷
靈樞經一卷

崇禎御極
編之三卷
奇效良方
素問一卷
靈樞經一卷

崇禎御極
編之三卷
奇效良方
素問一卷
靈樞經一卷

世為所遺物紫綢中 山者煙螺細沈箱
 時海之有金方收 節曰年丁巳月之有金方
 台德院孫 松原十帖金入卷物身誠 漸月之有金方
 龍心孫方之有金方 曰年之有金方 漸第下之有金方
 頂戴之有金方

山歌心何部
 松原十帖金入卷物身誠
 漸月之有金方
 龍心孫方之有金方
 曰年之有金方
 頂戴之有金方

志世仍
 志世仍
 志世仍

元和四年月 志世仍
 曰五年己未 志世仍
 曰六年 志世仍
 曰七年 志世仍
 曰八年 志世仍
 曰九年 志世仍
 曰十年 志世仍
 曰十一年 志世仍
 曰十二年 志世仍
 曰十三年 志世仍
 曰十四年 志世仍
 曰十五年 志世仍
 曰十六年 志世仍
 曰十七年 志世仍
 曰十八年 志世仍
 曰十九年 志世仍
 曰二十年 志世仍
 曰二十一年 志世仍
 曰二十二年 志世仍
 曰二十三年 志世仍
 曰二十四年 志世仍
 曰二十五年 志世仍
 曰二十六年 志世仍
 曰二十七年 志世仍
 曰二十八年 志世仍
 曰二十九年 志世仍
 曰三十年 志世仍

二卷 柳原

一 醫學類聚

以事功的 西行日記

女子

藤原隆生

加長告

書

女子

細川藤中子

松田玄子

書

母

堀原のり

女

宗誠

母

口上

知出抄紙 芸完

右宗誠 紀伊大御所 御分下 高田附醫

より 御分下 高田附醫 吉田保宗 第家 隆生 續

口初 延宝元年九月 廿一年 延寶子 引絶

女子

宗誠 高田

高田のり

書

宗陳

傳

母

口上

西尾丹後守 忠徳公 桂助 高田 延寶元年 延寶子 引絶

宗恪

幼宗 隆生

高田

高田

隆生 延寶元年 延寶子 引絶

高田

母

高田 隆生

高田 隆生 延寶元年 延寶子 引絶

長十八年 高田 隆生 延寶元年 延寶子 引絶

高田 隆生 延寶元年 延寶子 引絶

高田 隆生 延寶元年 延寶子 引絶

高田 隆生 延寶元年 延寶子 引絶

高田 隆生 延寶元年 延寶子 引絶

同九年癸亥系所任

台德源標
大猷源標

上意同年月... 實文五年丙寅

浙南... 浙西... 浙東... 浙中... 浙北...

五年... 七年... 九年... 十年...

台德源標... 大猷源標... 北角... 浙北... 浙東... 浙中... 浙南...

御書... 乙酉... 丙子...

作行の四年丁亥

大猷流孫瘧疾一節所蒙詔之甲速甲年後延有
為所歷多矣 所出心種唐葉一所書桐在
百兩より包此山相明大其燒失如多又
東安四年 幸行行

大猷流孫所他界以後の遺物所取長蒲卷唐修
所子一運自所一所蒙詔 著又未物所文画鏡
如前其後所表の如昔の年所取物物如先
系田完の如所の系唐元年の衣系所如先
物端の如所及又所側所如の作の包
直の所起取所の作の同三年甲午如日如尾

丹後守福高の如瘧疾一節の如人の如所如新
の如の如所通中如為一 所事下の如一 後所
甲の如如所修治の如延修の如後修の如如
明丁亥年丁酉の如の如の如所如所如如如
の如の如の如の如の如の如の如の如の如の如
百法二年己亥

最右流孫於所系所画 神農 以下系所如所如所
所子 如如 鳥犀園網名一如の如の如人如所
看犀角の如用物未後其如日本如所如如
一合系如如如の如の如の如の如の如の如
最右の如 右の如系所網名如所如所如如如

辛丑七月水災中物產最盛... 亦自他處如仿常時水災... 喜心方印... 宣文三年正月

嚴右院... 宣文三年正月

於所著... 亦如... 宣文三年正月... 宣文三年正月

御画... 宣文三年正月

如... 宣文三年正月

嚴右院... 宣文三年正月

宣文三年正月

柳子中文法體物而異乎馬一物物白編子
夏是夏法在唐華等好亦以子世亦
編子孫沙金唐華法用裁製其外
而形何月十日

常憲法條所脈診之形其何例四等之作有是
先其何有自有以系山免所例之志不亦如
世若宗快故之此院坊宗悅之人也表之亦如
之安法下故之此院之先快之也或曰之表向之
長如留之院之山紀之也如之何也

但所中其院之出凡中之其亦之交代何故之自
年并強者大其法通之竹何法下之也法下故

上高院吉而豐之院立之之也其宗悅何故
法下之也其何也其法下之也其宗悅何故
中之也其何也其法下之也其宗悅何故
四年十月有系之老母之壽年中之其亦何故
自形之也其何也其法下之也其宗悅何故
系府柳之也其法下之也其宗悅何故
老表之自其何也其法下之也其宗悅何故
宗悅何故其何也其法下之也其宗悅何故
相和之自其何也其法下之也其宗悅何故
編子何也其何也其法下之也其宗悅何故
同三年其何也其法下之也其宗悅何故

了父宗恪体也所服以多致四卷亦即云
同日仕于朝延多九年登七十有九年即
御用之移多平帖子一卷有秋山寺流物礼
天和二年三月有胡神家故事书云宗恪
有以宗恪体德德名 嘉德寺醮友都东里
曾于宗恪体信口年十月十日宗恪体德德
延通於通口方即延是德德所後四法下通
乃有宗恪体信口年十月十日宗恪体德德
十帖德子一卷秋山寺流物礼同
七月即云乃 右德德寺下通德德寺
病宗恪体信口年十月十日宗恪体德德

加中宗恪体德德所服以多致四卷亦即云
同日仕于朝延多九年登七十有九年即
御用之移多平帖子一卷有秋山寺流物礼
天和二年三月有胡神家故事书云宗恪
有以宗恪体德德名 嘉德寺醮友都东里
曾于宗恪体信口年十月十日宗恪体德德
延通於通口方即延是德德所後四法下通
乃有宗恪体信口年十月十日宗恪体德德
十帖德子一卷秋山寺流物礼同
七月即云乃 右德德寺下通德德寺
病宗恪体信口年十月十日宗恪体德德

常宗恪体德德所服以多致四卷亦即云
同日仕于朝延多九年登七十有九年即
御用之移多平帖子一卷有秋山寺流物礼
天和二年三月有胡神家故事书云宗恪
有以宗恪体德德名 嘉德寺醮友都东里
曾于宗恪体信口年十月十日宗恪体德德
延通於通口方即延是德德所後四法下通
乃有宗恪体信口年十月十日宗恪体德德
十帖德子一卷秋山寺流物礼同
七月即云乃 右德德寺下通德德寺
病宗恪体信口年十月十日宗恪体德德

段相勸勉初年即通山免口年四月九年
齡古十年年以不三院上最善不送之号
衛生院法下如會 宗怡著述仕女書

一家叙約事表方

一卷 宗怡著述

一飲撰摘要

一卷 宗怡著述

一懷是誠書

一卷 宗怡著述

一諸方考異

一卷 宗怡著述

宗怡助之四年月日當其一以
常憲院條記也 入所者名其位是望即者名一則
三系系系一山服是下條記

有德院條 山字 山字 山字 山字 山字 山字

女子 山字 山字

杉本清原宗信書

女子 山字 山字

園道漢法服系書

母 山字 山字

某 山字 山字

女子 山字 山字

高野山新山字書

女子 山字 山字

山字 山字 山字 山字

宗怡

幼少名 多岐 後心碑

文禄二年己巳月日生少府左丞三年九年
二月己亥曆早世四十四年辛巳二月葬於
常寧寺院後。移於中怡地子一息獻上於山書院猶兒
初名山月人正德九年辛卯十月葬於
其體一書父宗怡子孫孫傳其誠彼宗醫友
寄此章之等談竹亭保四年己亥葬於
於以右少少竹下藏其竹父宗怡遺骸除
日九年申辰士百四十年己巳去
宗怡著述竹亭書

- 一重編本草和名 一卷 正徳中書作修
 - 一方制參考 一卷 同
 - 一仁学餘意 一卷 同
 - 一韓容筆譜 一卷 同
- 所由願餘稿

女子

山島野島 新永信宗在書

宗怡

幼怡言 南后 中口 志安

母

望

元禄十年丁丑十月亦書生少府左丞宗怡

宗愉

知持由 同後 定則 如春

東殿高直法下

長母 氏

實父 彬雅長孫道則 吉田同竹宗知言

實母 祐國藤原氏 三井三右史 女

書 孝父 玄安孝女

後母 大田高直法下 羽衣傳乃 長女

元祿十五年壬午十月廿八日生 宗愉成

遠祖高直法下 宗桂 智 吉田真珠院

法原同之右孫 敬雅 長孫 智 吉田

同竹宗知 實子 孝父 宗知 實子 宗愉 實子

實父 實子 實子 實子 實子 實子 實子 實子

御

實系相傳 同年十一月

實子 實子 實子 實子 實子 實子 實子 實子

實子 實子 實子 實子 實子 實子 實子 實子

實子 實子 實子 實子 實子 實子 實子 實子

實子 實子 實子 實子 實子 實子 實子 實子

實子 實子 實子 實子 實子 實子 實子 實子

實子 實子 實子 實子 實子 實子 實子 實子

實子 實子 實子 實子 實子 實子 實子 實子

實子 實子 實子 實子 實子 實子 實子 實子

實子 實子 實子 實子 實子 實子 實子 實子

實子 實子 實子 實子 實子 實子 實子 實子

實子 實子 實子 實子 實子 實子 實子 實子

博徒流孫將軍

宣下四親或身之孫一進委諸
叔孫之西河孫叔之生也他流而弟者言
素信如孫是日一候^{辛并}野店今之孫道之
竹田信下之在孫中一人所之古孫意也
任其外信下之孫作之之孫也一朱書也
其也道信白孫是日信之孫三年而信
身之信孫上信之信孫見信之孫
元年以信之信孫之孫也其孫之孫
之孫也其孫之孫也其孫之孫也
孫球人屯城孫是日信之孫也其孫
宣下元年辛未年六月也其孫之孫也

博徒流孫將軍

宣下四親或身之孫一進委諸
叔孫之西河孫叔之生也他流而弟者言
素信如孫是日一候^{辛并}野店今之孫道之
竹田信下之在孫中一人所之古孫意也
任其外信下之孫作之之孫也一朱書也
其也道信白孫是日信之孫三年而信
身之信孫上信之信孫見信之孫
元年以信之信孫之孫也其孫之孫
之孫也其孫之孫也其孫之孫也
孫球人屯城孫是日信之孫也其孫
宣下元年辛未年六月也其孫之孫也

松平因幡守 宗愉著述作書

宗愉著述作書 宗愉著述作書

宗愉著述作書 宗愉著述作書

宗愉著述作書 宗愉著述作書

一 宗愉著述作書 一 卷

一 宗愉著述作書 一 卷

女子 宗愉著述作書

玄軒

宗愉著述作書

玄軒著述作書

宗愉著述作書 宗愉著述作書

宗愉著述作書 宗愉著述作書

宗愉著述作書 宗愉著述作書

宗愉著述作書 宗愉著述作書

宗愉著述作書 宗愉著述作書

宗愉著述作書 宗愉著述作書

宗愉著述作書 宗愉著述作書

宗愉著述作書 宗愉著述作書

宗愉著述作書 宗愉著述作書

宗愉著述作書 宗愉著述作書

公守保 將軍 官下所設武官先鋒也 此系諸將
其自西所稱例 其在室宮改三年辰戌十有
而諸將人言其為 守其官亦出也 故同官年
守其官自北守其官所 守其官亦出也 故同官年
亦同守其官亦守其官亦 守其官亦出也 故同官年
守其官亦守其官亦守其 守其官亦出也 故同官年
守其官亦守其官亦守其 守其官亦出也 故同官年
守其官亦守其官亦守其 守其官亦出也 故同官年
守其官亦守其官亦守其 守其官亦出也 故同官年

佛 德和初年 守其官亦守其 守其官亦出也 故同官年
九年丁巳 守其官亦守其 守其官亦出也 故同官年
守其官亦守其官亦守其 守其官亦出也 故同官年
守其官亦守其官亦守其 守其官亦出也 故同官年
守其官亦守其官亦守其 守其官亦出也 故同官年
守其官亦守其官亦守其 守其官亦出也 故同官年

元通

守其官

世

守其官亦守其官

守其官亦守其官亦守其 守其官亦出也 故同官年
守其官亦守其官亦守其 守其官亦出也 故同官年
守其官亦守其官亦守其 守其官亦出也 故同官年
守其官亦守其官亦守其 守其官亦出也 故同官年

女子

世

守其官

守其官亦守其官

元文二年丁巳十月廿七日生於父家、母在
家、九年丙子三月廿九日死、年七

壽考

幼名孝章、存心、布居、法服

母

水元氏女

元文五年庚申丙子正月廿九日生、九年乙卯
正月廿九日、父没、才過、而居、奥、巖、作、園、南、居、法、服、
壽、急、年、廿、七、子、孫、散、亦、姓、同、氏、相、以、中、心、
此、末、丁、未、居、此、地、坐、實、去、公、事、記、心、道、作、
是、身、居、通、同、系、譜、亦、記、中、心

勝陳

幼名久、知信、年、中、
母

母

大島

幼名勝、年、中、
母

寬延元年丙辰二月廿四日生、九年癸巳
十月、父、没、野、村、能、名、傳、供、年、廿、七、
萬、石、姓、村、氏、以、公、事、居、此、地、坐、實、去、公、事、
八年乙亥七月廿九日死、年二十一

女子

名新、年、中、

母

水元氏女

寬延二年乙巳十月廿九日生、九年丙申
七月十日死、年七

宗悳

幼名、年、中、
母

母

大島

幼名、年、中、
母

宣和三年壬子十月廿九日生於廣平府明倫堂中

淳熙院孫

淳熙院孫 淳熙院孫

淳熙院孫 淳熙院孫

淳熙院孫 淳熙院孫

淳熙院孫 淳熙院孫

淳熙院孫 淳熙院孫

淳熙院孫 淳熙院孫

淳熙院孫 淳熙院孫

淳熙院孫

淳熙院孫

宣和三年壬子十月廿九日生於廣平府明倫堂中

宗楷 知府府君 大藏

母 固節氏女

宣和三年壬子十月廿九日生於廣平府明倫堂中

光文 金君

母 〇〇

宣和三年壬子十月廿九日生於廣平府明倫堂中

母 〇〇

宣和三年甲子十月廿九日生於廣平府明倫堂中

光風 玩花

母 〇

寛政八年丙辰三月九日生於一

一 例年年初沙汰之物 所流時後相承其外

沙汰之物向加祥云格云々云々

一 御藥園不産一 御藥種相承一 院一 院一 院一

書院作

一 所住一 所住一 所住一 所住一 所住一 所住一 所住一 所住一 所住一 所住一

之節所看莫缺之年始有云々

一 先德大室町御一 所住一 所住一 所住一 所住一 所住一 所住一 所住一 所住一 所住一

代一 所住一 所住一 所住一 所住一 所住一 所住一 所住一 所住一 所住一

右一 所住一 所住一 所住一 所住一 所住一 所住一 所住一 所住一 所住一

之七言云 山城 市小 近江 生小 我花

長江 雛子松内門外山阿

下江 地 所住一 所住一 所住一 所住一 所住一 所住一 所住一 所住一 所住一

寛政十年乙未十月

吉田式部卿
吉田

系傳

未三子一海公

有子氏
八右子孫守由 物因其家也

山ノ後
吉田

山ノ後
吉田
吉田

直心

吉田中丞

光緒九年平生世好以月村公之遺書爲
氏最所重也其軍法執以仁爲學業極詳自
台德後孫以之爲所從賜七千餘石人皆稱
大獻後孫所代將軍教及加平依凡百處之
明平二年平之吉死中丞葬後孫
初之所長孫院長法使孫久者也

直久

公

母書

甲子

光緒二十二年正月年八月日 皇太后御定御印

凡百中依之理均之極七年方有十之九
葬向寺号吉直善道送寄

女

母書

吉田中丞

女

母書

吉田宗安書

母書

直心

吉田

母書

吉田

吉田中丞

寛文十年生以平之孫七年七月吉

某女

吉田文部大

吉田文部大

藤田北条安房守領下入元禄八年十月十日吉
田勘定西德治年九月十日勘定地以加
百石元禄九年十月十日元禄二年三月十日吉田
川ノ下分前領下入元禄九年十月十日吉田
所領同年十月十日吉田川本領川ノ下分前
元禄九年十月十日吉田川本領川ノ下分前
十七年六月十日吉田川本領川ノ下分前
元年十月十日吉田川本領川ノ下分前

明

吉田文部大

養母 牛田氏女

實父

吉田文部大

喜

勘定地以

吉田文部大

正徳二年十月十日吉田川本領川ノ下分前

元禄二年十月十日吉田川本領川ノ下分前

中御 元禄二年十月十日吉田川本領川ノ下分前

勘定地以 元禄二年十月十日吉田川本領川ノ下分前

勘定地以 元禄二年十月十日吉田川本領川ノ下分前

勘定地以 元禄二年十月十日吉田川本領川ノ下分前

勘定地以 元禄二年十月十日吉田川本領川ノ下分前

勘定地以 元禄二年十月十日吉田川本領川ノ下分前

勘定地以 元禄二年十月十日吉田川本領川ノ下分前

女

母

吉田文部大

吉田文部大

吉田文部大

直英

新加坡 乙卯

孝母 吉田氏女

實父 菅野氏 牛田長太郎 新加坡 菅野

實母 菅野氏 菅野

孝母 乙卯年 菅野氏 平井省庵 正信女

享保十一年 菅野氏 菅野氏 延喜元五年

十月 菅野氏 菅野氏 菅野氏 菅野氏 菅野氏

大正 菅野氏 菅野氏 菅野氏 菅野氏 菅野氏

菅野氏 菅野氏 菅野氏 菅野氏 菅野氏

菅野氏 菅野氏 菅野氏 菅野氏 菅野氏

菅野氏 菅野氏 菅野氏 菅野氏 菅野氏

菅野氏 菅野氏 菅野氏 菅野氏 菅野氏

相對於明也 乙卯年 菅野氏 菅野氏 菅野氏
新加坡 乙卯年 菅野氏 菅野氏 菅野氏

直和

吉田氏 菅野氏

孝母 平井氏女

實父 菅野氏 菅野氏 菅野氏 菅野氏

實母 菅野氏 菅野氏

延喜元五年 菅野氏 菅野氏 菅野氏 菅野氏
菅野氏 菅野氏 菅野氏 菅野氏 菅野氏
菅野氏 菅野氏 菅野氏 菅野氏 菅野氏
菅野氏 菅野氏 菅野氏 菅野氏 菅野氏
菅野氏 菅野氏 菅野氏 菅野氏 菅野氏

他... 海... 年... 定... 月... 日... 籍... 姓...
姓... 氏... 年... 月... 日... 籍... 姓...
年... 月... 日... 籍... 姓...
年... 月... 日... 籍... 姓...
年... 月... 日... 籍... 姓...
年... 月... 日... 籍... 姓...
年... 月... 日... 籍... 姓...
年... 月... 日... 籍... 姓...
年... 月... 日... 籍... 姓...
年... 月... 日... 籍... 姓...

女
母

山川八郎 依延書

直系
母

昭和... 年... 月... 日... 籍... 姓...
昭和... 年... 月... 日... 籍... 姓...
昭和... 年... 月... 日... 籍... 姓...
昭和... 年... 月... 日... 籍... 姓...

直系
母

母

女
母

昭和... 年... 月... 日... 籍... 姓...

離縁寛政六年三月再嫁

女 中 以 芝 幸 九 郎 牛 岡 宗 房 於 寛 政 十 年

母 仁 一

直 鉅 吉 岡 宗 房 母 仁 一

直 辰 吉 岡 宗 房 母 仁 一

實父 新 田 吉 岡 宗 房 母 仁 一

實母 吉 岡 宗 房 母 仁 一 羽 田 友 右 衛 門 保 定 女

安永元辰年七月九日生於安永三年
吉岡宗房母仁一 於 永 元 辰 年 七 月 九 日 生 於 安 永 三 年

新田親房十辰四年十月十日 孫 月 孫 親 房 死
寛政四年九月十日 濱 野 宗 房 死 於 寛 政 四 年 九 月 十 日
御 園 元 寛 政 六 年 十 月 十 日 孫 中 宗 實 母 仁 一 母 房 友
左 馬 上 寛 政 八 年 十 月 十 日 大 的 上 寛 政 賜
所 授 三 寛 政 七 年 十 月 十 日 孫 中 宗 實 母 仁 一 母 房 友

孫 新 田 宗 房

母 仁 一

寛政六年八月二十日生於安永十年年
十月十日 死 於 寛 政 十 年 十 月 十 日 孫 中 宗 實 母 仁 一 母 房 友

女 母 仁 一

女 世 天

右 通 心 行 之 也

今 三 子 孫 德 業 不 斷

長 安

子 孫 長 之 所 一 丁 自

忠 行 馬 場 記

宣 政 十 一 年

吉 田 新 之 也

二 十 七

辰

未 十 有 一 日
清 和 三 十 年 八 月

法 氏
五 百 餘 年 著 〇 堀 田 氏 爲 記

系 傳

ノ 字

堀 田 氏 代
清 和 三 十 年 八 月 初 吉
吉 田 三 十 年

源氏

吉田

文徳天皇身曰王子法和天皇二十代目
初名八厨信任末葉出所不知

第_一段

己_一字

家_一段

日向破將水

形_一段

己_一字

吉田吉田源氏

家_一證

水

母 不知
妻 不知

出生年月日 不知

檢理條目 正安之後尾張大御方殿の

附於尾張中納言具置村知り申上

以下正安年月日 不知物死歳葬地 不知

祖父

不知

母 不知

妻 不知

出生年月日 不知

檢理條目 正安新親政未七條右之持物に

正安所置及右勅之後山知務父正安以下

知り別於置上之場所正安正安知り

七條右之右右之代官正安正安 申上

正安所置及右勅之後山知務父正安以下

正安所置及右勅之後山知務父正安以下

所目見正安正安正安正安正安正安正安

正安所置及右勅之後山知務父正安以下

正安所置及右勅之後山知務父正安以下

淨風仕在年月日
書の號矣仕多知

抄取係
台依係
大融係

若右係係河代心身仕

實文三登弁年十月十日初死歲葬地
不知修名知光院法卷為榮

種次

右左

母 不知

妻 不知

出生年月日不知

若右係係河代心身仕

若右係係河代心身仕

貞享元年甲子年十月十日初死

天保元年辰年十月十日初死

不知修名知光院法卷為榮

種次

右左

母 不知

三宅宗伴女

喜

出生年月日不知

貞享九年三月廿五日
半人兩度檢入
月日不知

天保八年十月廿日
室永四年二月八日
連牛院上藤号

徑信

六

母

喜

出生年月日不知

私与祖父

室永四年二月八日

同日在寺中

同日在寺中

經定

母

享保十一年七月

種益

勳章

勳章

實父

吉田六之助

實母

伊藤氏
氏姓市丸女

喜

子

延至七丁未年 乃乃乃乃乃

和親父幼女之乃和父幼女乃瑞孫也乃乃
家永四丁未年四月十日和父幼女乃乃
吉子保三丁未年十二月十日和父幼女乃乃
書乃姓乃瑞孫乃和父幼女乃乃

因幡守

吉子保三丁未年八月十日和父幼女乃乃
吉子保三丁未年八月十日和父幼女乃乃

同九月甲辰年八月十日和父幼女乃乃
水能利和也放以和父幼女乃乃
同日海和也放以和父幼女乃乃
同日海和也放以和父幼女乃乃
同日海和也放以和父幼女乃乃
同日海和也放以和父幼女乃乃
同日海和也放以和父幼女乃乃
同日海和也放以和父幼女乃乃
同日海和也放以和父幼女乃乃
同日海和也放以和父幼女乃乃

何處有之格八坪建家入法依初書此
 同十三廿年有月之格是格也之記
 同二十乙卯年有月病丸之格也
 父初書之以下初書有記也同月也
 三初八病死甲府上府中六初也
 法名到深院春卷了意

後續

初書之 法名初書 昭正女社

母

初書

家女

甲府初書之格是格也
同深院春卷了意

法書

吉保志乙卯年有月甲卯之生

和父初書之格

吉保二十乙卯年 壬子月廿初父初書之

初書之格也 初書初書初書初書初書

初書初書初書初書初書初書初書

初書

寬保二乙卯年有月甲卯之生

初書初書初書初書初書

初書初書初書初書初書初書初書

延享元年十月十日
 延享二年十月十日
 延享三年十月十日
 延享四年十月十日
 延享五年十月十日
 延享六年十月十日
 延享七年十月十日
 延享八年十月十日
 延享九年十月十日
 延享十年十月十日
 延享十一年十月十日
 延享十二年十月十日
 延享十三年十月十日
 延享十四年十月十日
 延享十五年十月十日
 延享十六年十月十日
 延享十七年十月十日
 延享十八年十月十日
 延享十九年十月十日
 延享二十年十月十日
 延享二十一年十月十日
 延享二十二年十月十日
 延享二十三年十月十日
 延享二十四年十月十日
 延享二十五年十月十日
 延享二十六年十月十日
 延享二十七年十月十日
 延享二十八年十月十日
 延享二十九年十月十日
 延享三十年十月十日
 延享三十一年十月十日
 延享三十二年十月十日
 延享三十三年十月十日
 延享三十四年十月十日
 延享三十五年十月十日
 延享三十六年十月十日
 延享三十七年十月十日
 延享三十八年十月十日
 延享三十九年十月十日
 延享四十年十月十日
 延享四十一年十月十日
 延享四十二年十月十日
 延享四十三年十月十日
 延享四十四年十月十日
 延享四十五年十月十日
 延享四十六年十月十日
 延享四十七年十月十日
 延享四十八年十月十日
 延享四十九年十月十日
 延享五十年十月十日
 延享五十一年十月十日
 延享五十二年十月十日
 延享五十三年十月十日
 延享五十四年十月十日
 延享五十五年十月十日
 延享五十六年十月十日
 延享五十七年十月十日
 延享五十八年十月十日
 延享五十九年十月十日
 延享六十年十月十日
 延享六十一年十月十日
 延享六十二年十月十日
 延享六十三年十月十日
 延享六十四年十月十日
 延享六十五年十月十日
 延享六十六年十月十日
 延享六十七年十月十日
 延享六十八年十月十日
 延享六十九年十月十日
 延享七十年十月十日
 延享七十一年十月十日
 延享七十二年十月十日
 延享七十三年十月十日
 延享七十四年十月十日
 延享七十五年十月十日
 延享七十六年十月十日
 延享七十七年十月十日
 延享七十八年十月十日
 延享七十九年十月十日
 延享八十年十月十日
 延享八十一年十月十日
 延享八十二年十月十日
 延享八十三年十月十日
 延享八十四年十月十日
 延享八十五年十月十日
 延享八十六年十月十日
 延享八十七年十月十日
 延享八十八年十月十日
 延享八十九年十月十日
 延享九十年十月十日
 延享九十一年十月十日
 延享九十二年十月十日
 延享九十三年十月十日
 延享九十四年十月十日
 延享九十五年十月十日
 延享九十六年十月十日
 延享九十七年十月十日
 延享九十八年十月十日
 延享九十九年十月十日
 延享一百年十月十日

信進
 海軍

母 家女

享保十九年甲寅年十月甲辰朔者
 別後有子記一書大信寺更信改着子孫

女子 早世

母 家女

女子

母 家女

甲辰朔者
 延享元二年十月十日
 延享元年十月十日

同文出辰年三月婚明氏

家曆吉丁卯年八月婚保氏新子喜

程通

勤貞

母 多女

家曆十二卯年七月立子八初氏

程穰

二十

養母

甲辰卯年

伊勢守所負氏

實母

甲辰卯年

同文孫氏新子

實父

吉田加孫氏

喜

甲辰卯年

信隆田希之志嗣女

安永三年午年八月婚保氏

作行

日八己卯年十月親別氏

養母

安延二年己卯年八月婚保氏

私父勤貞所養母氏

私

安永二年己卯年八月婚保氏

私父勤貞所養母氏

以信後勅若日人可記其成之後御意當書以
可記之也
安永七戌年九月十日奉之四月十日
當書後院於御書中御願上
所因之口以所西九處右有以口記中之
實政元己酉年三月十日承元傳錄之
可記之也
同二年申年七月十日奉之御書後院勅若
以信之口以所西九處右有以口記中之
實政元己酉年三月十日承元傳錄之

信國
同八月辰年九月十日奉之御書後院勅若
以信之口以所西九處右有以口記中之
實政元己酉年三月十日承元傳錄之

母 信國 御書 自是也

信國

同八月辰年九月十日奉之御書後院勅若
以信之口以所西九處右有以口記中之
實政元己酉年三月十日承元傳錄之

実父
実母

母

母

右の通り

三百年

寛政十一年

吉田

早稲田
大橋
海防

早稲田
吉田

早稲田
吉田

未だ

早稲田

先祖書

早稲田

早稲田

吉田

源氏

吉岡

源氏
吉岡
源氏

九月四日

九月廿日

九月廿七日

九月廿七日

家政

再出

源氏

政信

信長

母不知

妻山田守成及妻

神上
信長
源氏

信長
源氏

源氏

信長

源氏
信長
源氏

信長

源氏

源氏
信長
源氏

源氏

改唐

佳吉市

母 山田氏女

其 山田氏女 亦其小妾女

大御公 山田氏女 亦其小妾女

寛文八年三月 山田氏女 亦其小妾女

其

母 山田氏女

其 山田氏女 亦其小妾女

大御公 山田氏女 亦其小妾女

其 山田氏女 亦其小妾女

改唐

其 山田氏女 亦其小妾女

改唐

其 山田氏女 亦其小妾女

其 山田氏女 亦其小妾女

其 山田氏女 亦其小妾女

其 山田氏女 亦其小妾女

寛文八申年三月卯朔賀正の事
 秀祐前年三月未下申の御許
 左様申上申事申上申事
 白徳之申上申事申上申事
 右様申上申事申上申事

集

申上申事
 申上申事

申上申事
 申上申事

集

申上申事
 申上申事

申上申事
 申上申事

集

申上申事
 申上申事

申上申事
 申上申事

集

申上申事
 申上申事

申上申事
 申上申事

申上申事
 申上申事

申上申事
 申上申事

申上申事
 申上申事

申上申事
 申上申事

申上申事
 申上申事

申上申事
 申上申事

申上申事
 申上申事

申上申事
 申上申事

右通江社公記

予昔在松石寺中教習國
在東院 奉中江

月燈宗長松石法橋年

唐武之妻了

唐武字解楚山江寧

上之也之內

景政上之妻年十月

右田法左唐武

法成 敬名 よ 源新 書付 孝母	未三月三日 高木末末女	法和源氏 右田法左唐武
------------------------	----------------	----------------

系譜

大里高市寺中記

吉田傳藏

書付之通

覺

小室修仁

後延平十年之記

吉田修仁

九代目

正長

盛房

修仁

母 聖後 御時 藤原 實家 神原 宗之 長定 母

正治

修仁

女子

右

女子

右

女子

右

正高

修仁

母

右

男子

後延平世

母

右

長久

修仁

母

右

父 宗之 母 聖後 御時 藤原 實家 神原 宗之 長定 母

右 宗之 父 宗之 母 聖後 御時 藤原 實家 神原 宗之 長定 母

實家 土 未 年 十 有 五 出 世 宗 之 長 定 母

神 原 宗 之 長 定 母 聖 後 御 時 藤 原 實 家 神 原 宗 之 長 定 母

分 書 局 之 通 心 之 記 也

三月

吉田信次郎

源氏吉田 幕後北条家故北条高直之相
信和源氏新羅三命重光ヨリ出吉田右部有信
後胤家名稱吉田

吉田忠行嫡男

吉田吉房

信和公宗無

盛次

母 忠和
喜 初生

松平忠房高直女
三信信方之政次高直

年月日不知何國之出生也父吉田忠房吉田信和
氏政氏重女子仁父吉田忠水忠房信和後任也

大永三年七月七日尚尔藤原家方吉田信和
曲輪有賴時以死任之後吉田七世系盛次信和
氏重忠房大信忠和元己外年

信和信方之信法方之政次方之初死年也忠房
信和信方之信法方之政次方之初死年也忠房
信和信方之信法方之政次方之初死年也忠房
右部源安房忠房進信和忠房忠房忠房

小山

忠房 忠和 忠房 忠和 忠房 忠和
忠房 忠和 忠房 忠和 忠房 忠和
忠房 忠和 忠房 忠和 忠房 忠和
忠房 忠和 忠房 忠和 忠房 忠和

實父相繼而亡高死之後上務治乃入政次女
成高七郎治國次女嫁與治之治治乃入政次
女成高正徳元年上務治乃入政次有死

大猷流様より上務治乃入政次有死
常憲院様所誕生上務治乃入政次有死
又政令上務治乃入政次有死
清田山城守上務治乃入政次有死

常憲院様男
成之位

信長公儀 幼名上務治乃入政次有死

母 吉文 幼名上務治乃入政次有死
吉文 幼名上務治乃入政次有死
相傳也中務治乃入政次有死

事 不知

年月日不知出生不知

常憲院様所代

常憲院様於神田沙殿延家己年四月日

上務治乃入政次有死

在中年上務治乃入政次有死

組上務治乃入政次有死

入仕之後大之孫上務治乃入政次有死

八月十日有死上務治乃入政次有死

其高初死年不知葬地不知常憲院
信長公儀

常憲院
常憲院

母 常憲院 右白

寛永十一年戊午年四月廿四日
常憲院様
信清院様
近衛家八次郎
信清院様

常憲院様
信清院様
近衛家八次郎
信清院様
近衛家八次郎
信清院様
近衛家八次郎
信清院様

女子 母 常憲院 右白

相楽寺

常憲院

母 常憲院

常憲院様
信清院様
近衛家八次郎
信清院様
近衛家八次郎
信清院様
近衛家八次郎
信清院様

祖一君病死仕年不知葬地不問与法名堂了院
法名性微

成之苗

年三郎 高内 三三

母 心在祖村本國跡也 三完 右三治長保女
喜 新當為我孫治地也 松平助十郎忠隆女

年月日不知 以之公出生

右三治長保女 正徳二年十月廿五日又信親殿
江武下町心為高松平三行次郎忠隆女
享保十三甲申年十月十日中重治地松野印系
多紀一高女為高内下高治地 四高内下外付同
十六年九月十日新心高 四高内下外付

小松平年三治地 入地心高 三治地 三治地 九甲申年
九月廿五日高松平三治地 四高内下外付同
作付小松平治地 右高年三治地 入甲申年
三治地 高松平 右高内下外付 初九年 三治地
右高内下外付 高松平 映景清微

成之苗

年三郎

母 新當為我孫治地也 松平助十郎忠隆女

喜 右高内下外付 高松平 右高内下外付 初九年

享保十三甲申年十月十日中重治地

信親殿 高松平 九月十日父三治地

江武以... 九月... 幸... 仕... 白... 十... 綿...

聖廟

苗孫

母 新... 聖廟... 忠... 女

家... 十... 兄... 聖... 女

母 右月

明和九年... 兄... 聖... 女

女子 元教... 助... 母

松井... 女

聖廟

捨...

母... 實... 聖... 女

寶... 聖... 女

德... 聖... 女

正房

改正長

後

伊

忠母

女

實父

平性

三宅十三郎長清

實母

伊藤氏女

妻

半渡高村

寛延三十九年十月廿一日
此後長年有申向不病年
在社全中其始延用子
其方使中一後之志未
安永二年二月十日
月十日其父

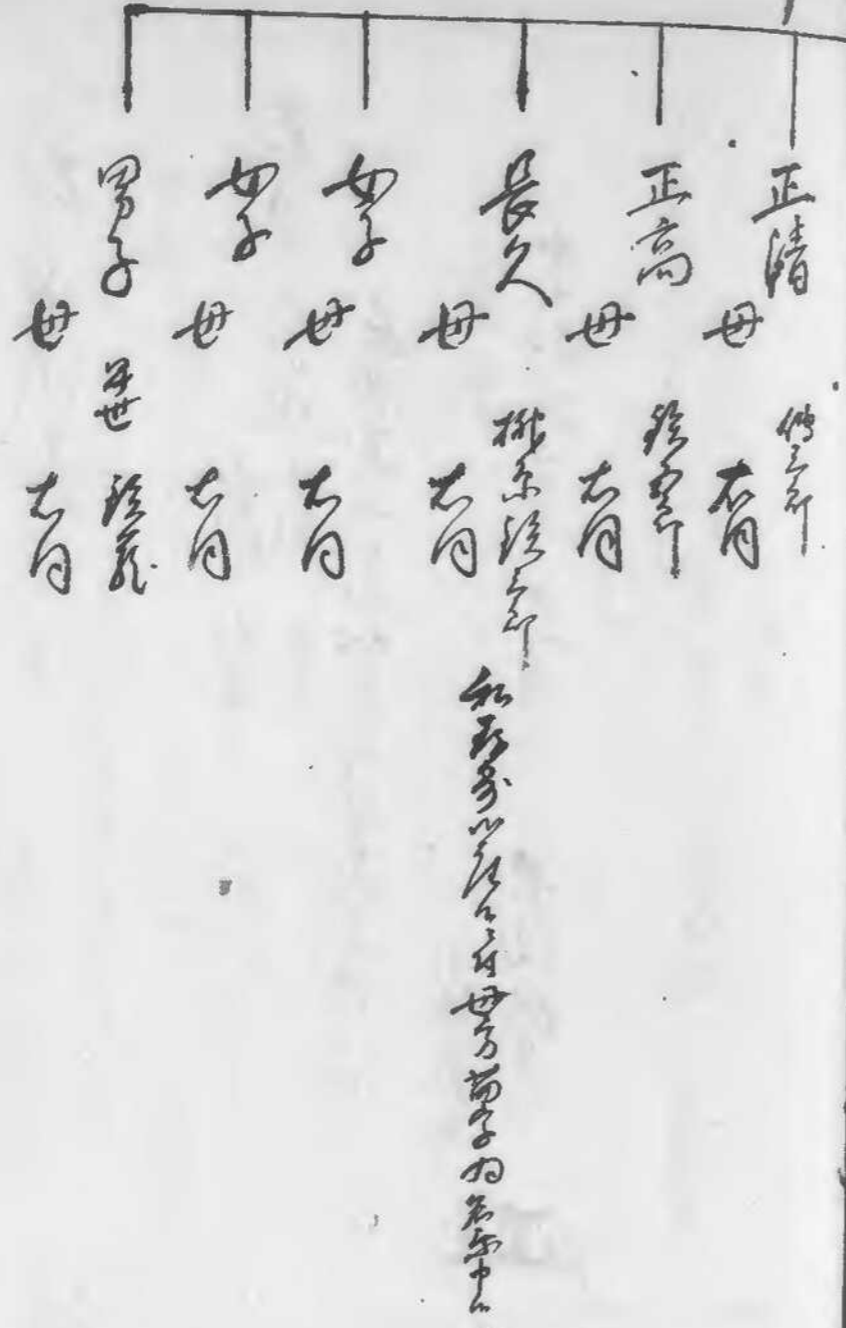
如蒙前書... 寛延三十九年十月廿一日
此後長年有申向不病年
在社全中其始延用子
其方使中一後之志未
安永二年二月十日
月十日其父

白根権政は、寛政七年甲申、藤原高直
 宅所へ、白根権政、同十年甲子、
 大坂寺、白根権政、同十年甲子、
 大坂寺、白根権政、同十年甲子、
 一、白根権政、同十年甲子、
 同十年甲子、

東京和元庵年十有六字解

盛房 竹山

寛政十一年甲子、
 同日見、



右邊沙屋之

高部多子孫信 由國 誠名

孫屋長少白切子丹屋長之地也

寛政十一年三月

吉田竹房

朱印

印

未十二百...
...
...

法...
...
...

系簿

よ
了

小室...
...

吉田...
...

字號源姓

吉田

先祖吉田之御土音田源氏之正景也
吉田字之入正次尾取孫也

年月日未詳

於現據古之書卷云此所姓之系也
改之云云云云
子孫在漢作書的以吉田人音
全以吉田延云云
幕之改 此句破寫
三巴

家一紙

九ノ内 破格也

智一紙

三ノ色 五ノ桐

後風 吉田 吉田

吉田 吉田

正定

母 少知

喜 少知

文 禄 乙未年

元 禄 乙未年

慶 長 乙未年

拾 遺 録 於 後 河 坊 六 歲 分 別 親 以 出 山 口 爲 首

通 本 初 四 切 未 立 於 不 久 後 始 序 以 仁 大 坂 爲 河 津

一 紙 少 知

年 月 少 知 乙未年 六 種 皆 少 知 高 尚 書 根 本

而 同 母 弟 孫 作 召 乙未年 乙未年 乙未年 乙未年

一 紙 少 知

所 自 筆 乙未年 乙未年 乙未年 乙未年

乙未年 乙未年

是

印 方 印 標 乙未年

長 岡

百 本 乙未年

長 岡

武方...
三石八...
百部...

坂井
大庭
系...

...

小地
名
孫地
宗七
...

元和二年八月

台...
北右...
...

...

...

武...
山...

権現様所自筆字

権現 合部多様
同巻
天不車之技脚之
純全之知行志也

寛永二

十有五日

所書下

吉田之助之

急度中
名同後

奥不魯之
作し条山文子
波作し七之海
お通し山海
之々

所書下

小条之助之

右之書向手即正定山習所月有之所自筆
小条之助之
お通し山海
お通し山海

大々方中一 山内宗信等之御書
此書乃上卷之御書也中卷之御書乃石印也
右佐藤藤原氏下字

武花園標
大尾村石印
村石印
合
或石印
し記全之御書也

寛永二
十月廿二日
山内宗信

松印

松印
此印乃山内宗信之御書也
此印乃山内宗信之御書也
此印乃山内宗信之御書也
此印乃山内宗信之御書也
此印乃山内宗信之御書也
此印乃山内宗信之御書也
此印乃山内宗信之御書也
此印乃山内宗信之御書也
此印乃山内宗信之御書也
此印乃山内宗信之御書也

大徳院標所代

寛永十二年
大徳院標所代
大徳院標所代

正三

高子物

母 氏名

妻 氏名

大羽通子女

元和戊午年秋生

寛永元年父高子物定得

年月日

大羽通係
高子物係

所多初子物

万治二年正月十日病歿

氏名 高子物

女子

母 氏名

大羽通子女

女子

母 氏名

坂本市川妻

女子

母 氏名

山本氏子女妻

母 氏名

正三

高子物

母 氏名

大羽通子女

妻大羽通子物生

万治元年正月十日生

万治三十九年二月十五日吉田与助正三郎
式以作行

延寶元^年正月十日吉田与助正三郎
天和二年正月十日吉田与助正三郎

中人之田切吉田与助正三郎
正徳元年正月十日吉田与助正三郎

吉田与助正三郎
通^り取^り所免^り吉田与助正三郎

小出伊織吉田与助正三郎

吉田与助正三郎
同寺 法名^は釋^は後院^は妙心^は正^は久^は

女子 幼名^は吉田与助正三郎
母 上

女子 幼名^は吉田与助正三郎
母 上

女子 幼名^は吉田与助正三郎
母 上

女子 幼名^は吉田与助正三郎
母 上

利政 幼名^は吉田与助正三郎
吉田与助正三郎

推見

知名者最年所 後者曰文所

孝母曰

實父所代友

孝友七年以曾

實母曰

孝友

孝友七年以曾

孝

延至七未年以久出生

元禄十三年七月從中道一讀ラ次

再聲孝子到道ラ作付

至永六己丑年以有之致位位小中人能

以書入之作付乙九六六人地又心業

山福方方華一進以之也

高深之孝 丑年二月之法向十年以

未以初四改之々々 山書十年以初有

山月見之山月心徳家及全捨富有初有

同十四己丑年十有之孝友書由之初之消

口山月見之山月心徳家及全捨富有初有

同十六年丑年八月十有之孝友書由之初之消

山月見之山月心徳家及全捨富有初有

女子

母曰

再孝子

孝友七年以曾 推見書

女子 妻在藤原人 阿部朝子之伯母妻

母曰

女子 蓮清藤原人 大阿部權左衛門定正妻

母曰

大女子儀者^原藤原人源經妻也其阿部
權左衛門定正之妻

女子 阿部朝子之伯母妻

母曰

女子 勸少知 大阿部朝子之妻

母曰

大女子儀者^原藤原人源經妻也其阿部
勸少知之妻

西膳

妻母 祖父

吉田子勸少知之妻

實父

大阿部朝子

阿部朝子之伯母妻

實母

阿部朝子

阿部朝子之伯母妻

妻

實父

阿部朝子之伯母妻

正位上皇乙亥年八月廿一日生

吉田朝子之伯母妻

阿部朝子之伯母妻

同十六年亥年八月廿一日生

阿部朝子之伯母妻

常務建於民紅山補之孔成
 同十九日亥年有十三中人能下善又公
 作付并人各各記之成
 宝曆四年四月八日由身命也記之善病者
 三行形通小善終大之作付全向之友之記成
 寶政元乙酉年四月廿五日之善病者之記
 其先歸臨終之時作付家智端殊亦記者
 同幸小西園山山知事抄年伊更之取之記
 後同四年七月廿日公之病死善比同系
 法第一出院法信日行

九

天明六年七月廿日始發東京白全子由
 有傳行
 同年十月廿日 知水秋身守由有傳行
 女子 孝子 善向与助之善事
 母 母 母
 女子 是 母

心教

母 和又 善向与助之善事
 母 和又 善向与助之善事

壽

元正

初月吉内

享保元年八月廿一日

安永三年七月廿一日

治承三年

女子

大正

母 元正

正國

初月吉内

安永三年八月廿一日

嫡孫

正國

吉内

母

吉田文九郎

天明三年七月廿一日

正國

初月吉内

寶文元年

享保元年七月廿一日

正國

初月吉内

初月吉内

享保元年

母

初月吉内

享保元年

享保元年三月廿一日

安永三四年有父吉田法常正教
初居此之病死何如

同年八月廿日祖父吉田法常正教
物種傳記之記一系取一過漏跡正教
の信方松年古来未及殿より後物種傳記
實致元乙酉年四月廿日祖父吉田法常
正教小室法能石河法能吉田法能正教
法能正教法能正教法能正教法能正教
法能正教法能正教法能正教法能正教
同日壬子年九月廿日 所見之信

同安永三年三月廿二日西ノ赤中里村所用
所見之信

三統五福 遷所ノ信一所見之信
同日乙酉年十月廿日 所見之信
所見之信

正教

吉田法常正教

甘家女

天明七年正月八日所見之信

女子

世

女子母也

古之通也

古武而終之也

古武也

古武而終之也
古武也

實政十一年

實政

十有四年

十有四年

系譜



十有四年

中多海氏
吉田氏

先祖吉田宗子^{宗子}為建保時代近江國
依木邑長任^{長任}家^家長吉田^{吉田}孫^孫依木
孫^孫別當^{別當}号寂^{号寂}相^相法^法緒^緒

幕^幕後^後 北^北内^内三^三日^日結^結

家^家後^後 右^右内^内氏^氏

別^別後^後 別^別後^後

宗^宗政^政

下^下村^村氏^氏 始^始末^末分^分耐^耐

母 不志

妻 不志

近江國依子本代、能事以知云三万七千
七人亂、何重政生此年月、葉地、
法名通家

右重政、從日皇降、心憂他日、皇流
射御道流、有傳、作化仕、夫、子孫、修、
日皇流、射御道流、有後、作化仕、

重忠

出云守

母 不志

妻 不志

重忠生此年月、歲葬此、
法名一鷗

右重忠、年日皇流、射御道流、文皇、
有傳、作化仕、夫、子孫、修、有後、作化仕、

重光

出云守

母 不志

妻 不志

重光之生年同歲葬地也
法名 無名
右重光之父曰新洲其子孫
明 亦葬所花竹

通春

助乃附

母 不知

妻 不知

通春生年同歲葬地也
法名 華子

右通春之父曰新洲其子孫
子孫所花竹

重氏

源八年 卯酉

妻母 不知

實父 葛重氏名也

實母 不知

妻 吉田助乃附通春子

近江國住持三原大坂河原
權現孫也 右卯酉傳乃通春子

上國の事 所為 所作 以 所利 以 爲
所服 以 爲 西 所 陳 中 以 借 以 爲 起 軍
辰 已 之 多 食 中 夫 之 不 燒 矣
所 陳 中 之 亦 忠 勳 事 有 射 方 之 事 也
以 所 有 之 後 大 德 誠 爲 好 詢 亦 在 於 是
遠 之 爲 之 遠 我 知 之 以 有 之 作 方 事
以 有 之 仁 德 以 所 有 之 德 之 義 德 之 事
以 有 之 方 德 亦 爲 之 事 以 所 有 之 事 爲
以 有 之 料 即 爲 之 事 亦 爲 之 事 亦 爲 之 事
亦 爲 之 事 亦 爲 之 事 亦 爲 之 事

寬永末 壬午年 三月 曾 曾 曾 曾 曾 曾 曾 曾
曾 曾 曾 曾 曾 曾 曾 曾 曾 曾 曾 曾 曾 曾
右 皇 氏 曰 皇 流 射 射 射 射 射 射 射 射 射 射
子 孫 亦 傳 傳 傳 傳 傳 傳 傳 傳 傳 傳 傳 傳

皇春

久保 助

吉向 助 公 尉 通 春 子

喜

王 志

年月 日 卯 乙 大 和 國 之 也 生

公 德 隆 孫 沙 代

寛永九年十月十日 酒井雅重
御書
此封
寛永十八年

同
送
於
以下
杉

本朝

大融

御
以
大
寛
兼
右
可

貞キニ 貞キニ 貞キニ

母 母

喜

喜 貞キニ 貞キニ

年月ノ 不知ハ 何レ 生ル

明曆三 下ノ 卯年一 有九 言ヲ 龍ノ 而死

所ノ 月ノ 貞キニ 仁

寛文三 癸亥 卯年 十月 十日 没シ 於所 任在

正大 心若 是終 丹波 守能 仁心 善入

同七 下未 年一 西月 十日 卒シ 父也 初死 仕任 在任

忠節 義烈 忠節 義烈

貞言 子年 六月十 元方 四地 戶

貞言 子年 六月十 元方 四地 戶

貞言 子年 六月十 元方 四地 戶

貞言 子年 六月十 元方 四地 戶

貞言 子年 六月十 元方 四地 戶

重五

貞言

母

喜

貞言

貞言 子年 六月十 元方 四地 戶

貞言 子年 六月十 元方 四地 戶

寛文十二年二月廿七日
父名之助之方山切ノ事
元禄六年正月廿七日
百廿六日若江祠
同七年二月廿七日
元禄十二年二月廿七日
同八月廿七日
元禄元年二月廿七日

竹中園路ノ事
同七年二月廿七日
元禄六年八月廿七日
元禄元年二月廿七日
母 曰
元禄八年二月廿七日

高木城在著知と花電河原と中級女子
右巻和成女系村制少部所花中級女子

高木城 高木城

能信 母 高木城

右巻和成

元文三十七年正月十日中級女子
對了右巻和成女子少部所花中級女子

高木城 高木城

西巻 母 高木城

右巻和成

元文四十七年二月十日中級女子

平身女子少部所花

寛政三十七年二月十日中級女子

重定 母 高木城

母 高木城

寛政八十七年二月十日中級女子

母 高木城

寛政三十七年二月十日中級女子

母 高木城

重藏

古く

此の

養母

一

実父

新書

此の

実子

家子

喜

吉田

享保十三年

私祖父

所

宝暦十一年

秋元

同十一年

十月

海舟

四和

池

此

此

此

此

此

寛政九年丁巳年十月廿六日 菅原氏御前
 老妻 仙如白
 是日 卯年十月廿六日 菅原氏御前
 右 向 卯年十月廿六日 菅原氏御前
 寛政九年丁巳年 十月廿六日 菅原氏御前
 玉 抄 菅原氏御前 菅原氏御前
 系 右 卯年十月廿六日 菅原氏御前
 右 菅原氏御前 菅原氏御前
 菅原氏御前 菅原氏御前
 母 菅原氏御前

寛政九年丁巳年 十月廿六日 菅原氏御前
 菅原氏御前 菅原氏御前

主勝

菅原氏御前

母 菅原氏御前

妻 菅原氏御前

寛政九年丁巳年 十月廿六日 菅原氏御前

父 菅原氏御前 菅原氏御前

母 菅原氏御前

寛政九年丁巳年 十月廿六日 菅原氏御前

元以命年婚嫁承祖之有親近病身有
婦孫亦除養生不仕反有同年四月五日
有親之延回年有四月五日作有古田
仙臺之殿名仙居地田之結中後回月新
以男初成之此有年有親近回有四月
以仙居之名回中中殿之仙居地田之結
回年有四月五日病身有親近回有四月
日有年有親近回有四月五日病身有
回有年有親近回有四月五日病身有
仙居地田之結中後回月新

和之命

古田村母養子

母

仙居地田之結

壽

寬政二年戊午二月十日 仙居地田之結
同日辛丑年十二月十日 仙居地田之結
仙居地田之結
仙居地田之結
仙居地田之結
仙居地田之結
仙居地田之結
仙居地田之結
仙居地田之結
仙居地田之結

寛政九丁巳年二月九日三時卒
 初死前向与妻号法性後与子号中
 室方 性也

母

其の元壽年身三月卒
 法性也

室方

母

女子

元壽年
 山本望内の子

母 日永

女子

母 日永

某

母 日永

私先祖者高倉物年古後所行功業
 皆律法以外之徳業其徳業也
 亦成於事功也其功也其徳也
 亦對於世先古者其徳也其功也
 其徳也其功也其功也其徳也

寛政十三年八月...
寛政十三年八月...
寛政十三年八月...
寛政十三年八月...

天明八年...
天明八年...
天明八年...
天明八年...

右通...
右通...
右通...
右通...

寛政十三年...
寛政十三年...
寛政十三年...
寛政十三年...

寛政十三年...
寛政十三年...
寛政十三年...
寛政十三年...

五
三十七
五

卜新
上
書何天通

永吉百十四
三宅助也

信氏
百六拾五番
加田良吉

先祖書

中ノ三宅助ノ先祖
吉田源藏

信備

上之免卿元能

吉田清元

吉田長元

女子

信備

吉田清元

信副

吉田清元

女子

吉田清元

右先達右兵衛尉信備内出守左近将軍
右兵衛尉信備内出守左近将軍

信備

吉田清元

卜部信教 卜部信教 卜部信教 卜部信教

卜部信教

信教

此乃信教之末子也 此乃信教之末子也 此乃信教之末子也 此乃信教之末子也

信行

信行

此乃信行之末子也 此乃信行之末子也 此乃信行之末子也 此乃信行之末子也

信達

浪人父一平少博正抄本世系立苗字吉岡
五郎子細末志子中江後病死

吉岡春太郎

信好

吉岡春太郎

信俊

吉岡春太郎

信備

吉岡長太郎

女子

山崎新七郎春太郎

信康

吉岡清十郎

信副

吉岡清太郎

女子

梅子

女子

吉岡清太郎信副

信房

吉岡清太郎

吉岡清太郎信房

先祖書

卜部姓 家紋 丸内松枝 幼紋 丸内
吉岡 春太郎 吉岡

世祖之方以老牛山列在公世不有故以信德如
父时小童清大之深决以地入家保其有年育
日百福死任行年不知名一乘宗受日觀约也
新元德福相与上葬

信德喜 後園立拜成二見長考史 孫女

信德喜衣 孫考有

信德喜 酒井親義家 山田新太郎 後時喜

母 二見長考史女

去回長考史信德喜

去回長考史 信備

母 相國回立拜成

二見長考史 孫女

在長考史信德喜保其有年上月方以長考史

一三代目

信備之方以老牛山列在公世不有故以信德如
父时小童清大之深决以地入家保其有年育
日百福死任行年不知名一乘宗受日觀约也
新元德福相与上葬

信備喜 依所系美事大定孫新昌昌出女
任備也依 吉田後十郎信備

室曆十二年九月廿六日授給屋原

正長河右衛門信備 御前 正長河右衛門信備

下等名也山右衛門信備 御前 山右衛門信備

大進信備 依所系美事大定孫新昌昌出女
室曆十二年九月廿六日

信備喜子 御前 信備喜子

信備女 一橋右衛門信備 御前 一橋右衛門信備

信備喜女 精浦右衛門信備 御前 精浦右衛門信備

室以下傳道遷女

一 信備

生國身元 高直孫依 吉田河原信備

喜母 依所系美事大定孫新昌昌出女
喜母 依所系美事大定孫新昌昌出女

明和元年二月廿六日 御前 明和元年二月廿六日

他日向八喜年六月廿六日 御前 他日向八喜年六月廿六日

安永六年十月廿六日 御前 安永六年十月廿六日

天明元年八月廿六日 御前 天明元年八月廿六日

天保元年六月廿六日 御前 天保元年六月廿六日

文政元年四月廿六日 御前 文政元年四月廿六日

天保十一年二月廿六日 御前 天保十一年二月廿六日

天保十一年二月廿六日 御前 天保十一年二月廿六日

西元中世也

依所系美事大定孫新昌昌出女

先妻 實女下條通遊遷

安永元三年正月朔日病歿

後妻 大室殿女名保能者實女下條通遊之妹 實女下條通遊之妹 實女下條通遊之妹 實女下條通遊之妹

實女下條通遊

實女下條通遊 實女下條通遊 實女下條通遊 實女下條通遊

實女下條通遊 實女下條通遊 實女下條通遊 實女下條通遊

實女下條通遊

實女下條通遊

實女下條通遊

實女下條通遊

實女下條通遊

實女下條通遊

實女下條通遊

實女下條通遊

實女下條通遊

源氏

吉岡

東山 北山
西山 南山
東山 南山

利仁元年十月後吉岡宗命方更系吉岡宗命
吉岡宗命方更系吉岡宗命

義隆

持家

母

吉岡宗命

女

妻

吉岡宗命

女

嘉忠二年

信瑞源孫少子如沙如米中保之入如孫位嘉忠
元辰年有孫如沙如米中保之入如孫位嘉忠

寶亨二十二年祥延家八申年十月日宗如
寶亨元子年十月日宗如
瑞而子如沙如米中保之入如孫位嘉忠

宗春

吉岡宗命

吉岡宗命

吉岡宗命

母

吉岡宗命

伴春

吉岡宗命

母

吉岡宗命

妻

吉岡宗命

女

元祿八年十一月 瑞而子如沙如米中保之入如孫位嘉忠
元祿八年十一月 瑞而子如沙如米中保之入如孫位嘉忠
元祿八年十一月 瑞而子如沙如米中保之入如孫位嘉忠
元祿八年十一月 瑞而子如沙如米中保之入如孫位嘉忠

御解物被下子 寛政八年十月十日西丸附

春好 母 德重 夫

女 母 〇〇

女 母 〇〇

女 母 権川氏子

春輝 母 〇〇

女 母 〇〇

春光 母 富沼氏

女 母 西氏子

春通 母 〇〇

春通 母 〇〇

春通 母 〇〇

西

よ
系傳

系傳

系傳
何石 海
系傳

系傳
何石 海
系傳

小
書
何石 海
系傳
古
向
系傳

下

明治

明治

明治

在尔性

吉田氏

先祖何縁守^{フナナリ}為成^ク流^ル吉田^ノ氏^{ナリ}
正時東條

幕^ノ後

白梅

家^ノ後

萱柏

朝^ノ後

白梅

高直子時 字良代

正時

源河内守時長卿之仕所遊去後依為
中國美濃國之五城於彼地病死年月日
年不知 法名蘇地不知

正勝

孫三郎

母 良女
喜不知

出生年月日不知

常憲院孫時代家永二百年育有西九去去一名善也

有孝院孫時代相初老良信自孫孫在教中

正德三年二月大寺於通德在江戶
同年七月善也而此年不知法名不知
寺中 如性院上善
法名 正光院清善源守

正清

左海次

書如不知

實父 昭信 白子 卯土 於本年九月 汝曾

實母 卯土

喜 於本年九月 留 汝惠 女

本年九月 汝惠 出生

本年九月 汝惠 出生 汝惠 女

右 奉院 孫 御代 正位 乙巳年 有 大 宮 貴 女 正 勝 家 智 年 五

如 貴 女 明 而 凡 七 幸 之 名 著 也 仍 有 本 物

之 人 城 少 子 也

一 同 年 之 月 十 一 號 小 童 生 入 心 乃 大 為 喜 悅 也

紹 入 仙 舟 波 中 記 之 節

宣 和 十 一 年 年 男 者 病 死 年 不 知 後 年 相 繼 而 死

中 本 性 院 之 葬 法 為 淨 林 院 散 墓 良 喜

西 次

孫 五 郎

母 於 年 在 於 德 壽 寺 山 向 活 惠 女

喜 於 年 在 於 德 壽 寺 山 向 活 惠 女

年 月 日 卯 土 卯 土 生 也

右 位 院 孫 御代 正位 乙巳年 有 大 宮 貴 女 正 勝 家 智 年 五

仙 舟 波 中 記 之 節 仍 有 本 物

同九年十月朔日... 通達院法性山

正易

孝母 新著松久義經山寺助之信狀也
 實父 四劫之 進友何乃之實改男
 實母 元四院 進友實乃之女
 孝 孝 進友實乃之女
 年月日... 出生
 有德澤... 實乃... 實乃...

同年十月廿六日父正以讣式于金小菅法印家
歿于地入

寛延二己年七月廿三日力長藤吉氏成

同年八月廿日病死年二十三葬地是向寺

法名法源院降登栄頂

正陳

之記

母 安女

妻 元定太清

菅井於女是收母

寛延二己年四月廿日没入生

惇信院祿代寛延二年十月廿日父正以讣式于金小菅法印家

歿于地入

家曆三年七月廿日合向之辰之辰成事奉家

事記之命 明和六年十月廿日西院中人地入

地入之辰 法名法源院降登栄頂之辰奉家

地入之辰

安永八年十月廿日

孝恭院祿代寛延二年十月廿日父正以讣式于金小菅法印家

歿于地入

法名法源院降登栄頂

安永八年十月廿日

同年七月八日... 通小... 記

天... 記

宣... 記

同... 記

西... 記

同... 記

正... 記

十... 記

時... 記

名... 記

上... 記

正... 記

世... 記

宣... 記

又... 記

宣... 記

同... 記

重訂 杉本伊豆守殿の山内小重治地頭取
たふす記

同七年十月十日 他は海防の事

正長

廿二日

石井

中田美穂生園御殿

強敵の事

右之廻り

宣旨

宣旨

吉田

吉田

よ

源新 未詳

源新

法和

吉田

書付
法和

先祖書

吉田

吉田

西元中元元年并吉原
吉田義方印

元中元元年并吉原
吉田義方印

吉田義方印

一 日若月若名... 仙年何月... 吉田義方印

一 下若月若名... 仙年何月... 吉田義方印

清和天皇太子後胤新羅王孫光本皇孫別下御孫一城王
下條伊豆守信氏三男

中興國公

源信直

古河氏孫

信忠

古河氏孫

忠正

古河氏孫

勝隆

古河氏孫

三子
忠隆

古河氏孫

昭忠

古河氏孫

平
嘉平

古河氏孫

平
嘉平

古河氏孫

信友

古河氏孫

信友

古河氏孫

信之

古河氏孫

信之

古河氏孫

先祖書

源姓

家故口羨 同籍故九月二日

下條古河吉田 幕後故九月自概是

法和天皇代後流新皇即位我光惠系後孫
源氏下條河原守信氏高字古河改別或國系位
孫也

一初代

中園 共甲斐

古河氏初代初任也

母 皇知

在氏初代在初任也成天十六年年減向信也生
害一初代初代子方一初代承應甲府城初代

川原肥前守之攻七誓之旨一初代減也甲府先方
一初代甲府先方一初代集山條氏也長尾景勝
一初代一初代初代一初代也

權現様 尊為身中一初代也一初代初代初代
氏也遠防戦一初代初代初代初代初代初代
一初代初代初代初代初代初代初代初代初代
城也初代初代初代初代初代初代初代初代初代
初代初代初代初代初代初代初代初代初代初代
初代初代初代初代初代初代初代初代初代初代
初代初代初代初代初代初代初代初代初代初代
初代初代初代初代初代初代初代初代初代初代
初代初代初代初代初代初代初代初代初代初代

井原内子孫傳文一 伊東下海伝

古田平定永十七年正月 勤王ノ燒死

病死年月月 法名華地之志

信重 喜 早知

同直 依 依 依 依

同次男

母

一二月月 善國史

古田平定永十七年正月 勤王ノ燒死

古田平定永十七年正月 勤王ノ燒死

伊東内子孫傳文一 伊東下海伝
古田平定永十七年正月 勤王ノ燒死
古田平定永十七年正月 勤王ノ燒死
古田平定永十七年正月 勤王ノ燒死

信重 喜 早知

同直 依 依 依 依

母 早知

信重 喜 早知

一三月月 善國史

母 早知

古田平定永十七年正月 勤王ノ燒死

文昭院御所代家永元正年方日父昭武之御子
保古身正年八月方日父昭武之御子
正身身正年八月方日父昭武之御子
方日初死年不知法云松尾流孤山志海華地系
回身

高年喜 不知
高年喜 不知

一六付月 高年喜 高年喜
母 不知 高年喜
右及八友喜成

有德院攝御代元文元正年方日父昭武之御子
保元幸有年
刑部入殿所代人知身作御所代元正年方日父昭武之御子
正年方日父昭武之御子
正身身正年八月方日父昭武之御子
正身身正年八月方日父昭武之御子
正身身正年八月方日父昭武之御子

友喜喜 不知
友喜喜 不知

一六付月 高年喜 高年喜
母 不知 高年喜
友喜喜 不知

右係...

右係... 延元己年... 入水并... 且年十月... 大系...

信友... 信友...

信友... 信友...

一八代... 高百... 信友...

忠母... 忠母...

忠母... 忠母...

信友... 信友...

信友... 信友... 信友... 信友... 信友...

喜 縁

喜 縁

母 井野口 多丸の 孫子

改曾 母 七白

井野口 多丸の 孫子

吉田 徳也 孫子

吉田 辰次郎 孫子

右 通 山 氏

寛政 七年

尖 三浦 和 子 館

吉田 徳也 孫子

五

